

児童主体の読書活動によって本に親しむ態度を高めた実践

学校名 川口市立原町小学校
所在地 川口市飯原町6-50
電話 048-252-4761

1 本校の概要

本校は、児童数422名、「すべての子どもが学ぶ喜びを感じる、笑顔あふれる原町小学校」を目指す学校像として、原町小学校でよかったと児童・教職員・保護者が誇りを持ち、地域に愛される学校づくりを目指して取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 特色のある実践の視点

- ・ a 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ f その他、特色のある読書活動の取組

(2) 実践の概要

本校では、「朝読書」の時間を全学年、週1回15分程度設けている。また全学年、月に1度、地域の読み聞かせボランティアの方々による読み聞かせがある。さらに、学期毎の図書委員会主催の企画や学級文庫のローテーションなど、児童が本にふれあう機会を増やせるよう多様な活動を行っている。

ア 委員会企画「読書クイズ」(1学期)

低・中・高学年向けに、それぞれ原町小図書館の蔵書にまつわるクイズを作成し机に置く。机にヒントとなる付箋がついた本を置き、誰でも参加しやすく解きやすい配慮をした。クイズに正解すると、正解数に応じて図書委員作成の本校マスコット「はらまっち」のしおり(金・銀・カラー・白の4種)がもらえる。

イ 委員会企画「紅白神社開運おみくじ」(2学期)

本を借りると、おみくじが引ける。景品は、図書委員が本のブックカバーで作成したエコバックまたは、しおりがもらえる。ポスターや児童集会で全校児童に周知し、参加を呼びかけ企画が盛り上がるようにした。



ウ 学級文庫の管理

学期毎に学級文庫のローテーションを行い、年間を通して多様な本に出会える工夫をしている。リストを作成して各教室にて管理が行き届くようにし、そのリストを参考に毎年各学年に合った本の補充・入れ替えを行っている。ローテーション時に、図書の修繕・補修を行い、大切に管理することができている。

エ 絵本×給食 「おいしいおはなしめしあがれ」

学校図書館司書と栄養士が企画し、秋の読書週間中に自校給食メニューに関連する絵本の展示コーナーを設け、昼の放送で全校児童に周知した。司書が作成したお皿の形をしたPOPには、その日のメニューと絵本の題名を記入し、図書ボランティアが作成した飾りと共に展示した。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 学期毎に企画を実施していることで学校図書館の利用者数は常に多く、読書活動の活性化に繋がり、本に親しむ環境づくりができた。利用者数、貸出冊数は、共に年々増加している。

年度	R4	R5	R6	R7※
貸出冊数	3933	5472	5790	3354

(※R7年度4月～11月)

- ・ 公共図書館の団体貸し出しを利用したり、季節や行事に応じたコーナー展示を設けたりして、児童がさまざまな本に出会う機会を増やすことができた。

(2) 課題

- ・ 図書システムの統計によると、貸出が一部の本に集中している傾向がある。多種多様な読書に繋がるように、さらに工夫し支援していきたい。
- ・ 特別支援学級の児童も楽しめるような図書が少ないため、積極的、計画的に選書を行いたい。

(3) おわりに

今後も、各教科の調べ学習において、児童が図書資料を積極的に活用できるように選書していく。特別支援学級が増えたこともあり、誰もが利用しやすい、利用したくなる学校図書館教育を一層推進していきたい。